

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103698
法人名	有限会社 ラッセル社
事業所名	グループホームみなみ
所在地	松山市津吉町1142番地 1
自己評価作成日	平成22年11月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年12月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的な雰囲気を大切にしている。利用者にとっての身近な存在であり、安心できるように努力している。
 バス停やめだか、季節の花々など落ち着ける雰囲気にしている。
 職員間の連絡や相談が気軽に行えている。
 入居者に対して個別の対応ができるよう日々相談できるようにし、身体的・精神的な細かな気づきを大切にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

- 今年、広く改修され玄関横の縁側から、近所の方が声をかけてくださったり、野菜やお花を持って来てくださったり、時にはお茶を飲んで帰ることもある。又、縁側で洗濯物をたたんだり、切り干し大根を干したりされていた。
- 職員と利用者がテーブルを囲んでお話されたり、ままごと遊びの道具等を使って手先の運動をされていた。又、利用者が昔、遊んだような手遊び等もされたりする。
- カレーやお寿司がお好きな方や酢の物を好まれる方が多く、献立に採り入れて食事を楽しんでおられる。職員は、利用者と一緒に食材の買い物に行かれたり、散歩の途中の直売所で野菜を購入する等、利用者に向の野菜を教えていただきながら 新鮮な野菜を多く採り入れて食事作りをされている。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームみなみ

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

上田 育代

評価完了日

H22年 11月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 地域とのつながりを大切にしながら、人生の先輩として敬意、尊敬をもち、かつ日々よりよいサービス、個人個人その人らしく生活できる事を念頭におき、理念としている。また実践出来るよう話し合いもその都度行っている。	
			(外部評価) 「呆けても自分らしく生きる」と開設当初から理念を掲げて「その人らしさ」を大切に「利用者個々の生活のペースを乱さないよう支援」ができるよう、取り組みをすすめておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 組み入りして役員をしたり、清掃などにも協力している。また、地方祭や、鱈のつかみ取りなど、行事に参加したりもしている。	
			(外部評価) 今年、広く改修され玄関横の縁側から、近所の方が声をかけてくださったり、野菜やお花を持って来てくださったり、時にはお茶を飲んで帰ることもある。地方祭では、事業所に神輿を入れ、地域の方と一緒に祭りを楽しまれた。散歩時には地域の方とあいさつを交わしたり、地域の夏祭りや近くの田んぼで行われる「うなぎのつかみ取り」等、地域の行事に積極的に出かけておられる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 現在は推進委員会での疑問等などにお答えしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告や 話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上 に活かしている</p>	<p>(自己評価) 利用者の情報やホームでの出来事に関して詳しくお話し、 よい点も悪い点も、話し合いできるように努めている。自分 達の姿勢を提示し意見を求めたりもしているまたホームで困 難な面も提示し、参考な意見等もいただいている。</p> <p>(外部評価) 管理者は、会議を通じていろいろな方に「認知症を理解して いただき、事業所の中を知っていただきたい」と考え会議を すすめておられ、民生委員・区長・家族に参加していただ いている。今年から職員も会議に参加して地域の方のお話を 聞くようにされている。ご家族皆に案内を出して参加を促し ておられ、参加者から「みなみ便りを回覧してはどうか」と意 見をいただき、個人情報になるので家族と話し合い検討し ていきたいと考えておられた。</p>	<p>事業所では、会議に多くのご家族や地域の方に参加してい ただけるよう、行事と会議を抱き合わせて行うことも考えてお られた。又、防災訓練等を地域の方達とともに行いながら関 係を深めて、地域との協力体制をより強めていきたいと考 えておられた。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取組みを積極的に 伝えながら、協力関係を築くように取り組んでい る</p>	<p>(自己評価) 運営等で疑問点・改善点があれば、相談するようにしてい る。</p> <p>(外部評価) 市や地域包括支援センターから感染症等の情報をもらっ たり、研修の日時や内容を教えていただいたり、他事業所の 演奏会の日時を教えていただき、職員と利用者で出かけら れたこともある。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における 禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解 しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしな いケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 職員全てが身体拘束の禁止事項を理解し、拘束のないケア を行っている。</p> <p>(外部評価) 裏口から外出された利用者があったことをきっかけに、職員 で話し合い、出入口を閉めるのではなく、職員が昼間必ず 1人は居間で利用者を見守り、所在の確認することに決め、 利用者が自由な暮らしを続けられるような支援に努めておら れる。夜間、利用者が落ち着かないような時には、頻繁に居 室を訪ね、ご本人の様子を観察するようにされている。事業 所内で身体拘束委員会を設けられ、勉強をされており、言 葉の拘束についても話し合われている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員の普段の様子を観察すると共に利用者の身体の観察も同時に行っている。身体的・精神的変化を見逃さないように職員全体でお互い注意し、報告・連絡等も行っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 実際に成年後見制度を1名利用されており、勉強会にも参加し、成年後見人の方とも、相談等行えている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約等については、契約書・重要事項の説明を行うと共にわずかな疑問に対してもお答えしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族や利用者との間で、出来るだけ細やかな対応をし、連絡したり、来所時にはゆっくり話す機会を持ち、気軽に話せる雰囲気作りに努めている。また、その話をミーティング等で話し合うようにしている。	
			(外部評価) ご家族が毎月来られる際に利用者ご本人の様子をお伝えしたり、ご家族の生活の様子やご事情等にも配慮しながらお話しされている。又、顔馴染みの職員が対応し、ご家族が話しやすい雰囲気が作れるよう取り組まれている。管理者は、事業所のサービスについて要望や苦情等、ご家族の「内面の意見」をうかがいたいと考えておられ、今年からアンケートを実施しておられ「家にいるときより明るくなった」等の感想もいただいた。	事業所では、今後ご家族へのアンケートを続けて「家族の声」を聞きたいと考えておられる。管理者はアンケートについて「意見を出しやすいような質問」の工夫も検討したいと話しておられた。又、事業所の事情もあり現在は、便りの発行は不定期になっているが、今後は定期的な発行に取り組み、ご家族や地域の方に事業所の取り組みを知ってもらいたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営に対して職員の提案・意見を定期的なミーティングでの話し合いや個々でも相談しやすいような雰囲気作りに心がけている。代表・管理者のほかにホーム長、主任2名含め、互いに協力し合っている。	
			(外部評価) 前回の評価を受け、今年から、研修計画を立てて職員研修に力を入れて取り組んでおられる。外部研修にも積極的に参加して、ミーティング時、研修内容を報告する機会を設けておられ、又、「接遇について」「感染症について」等、テーマを決めて勉強もされている。管理者は、さらに「外部からの講師を招き、研修会を開きたい」と話しておられた。職員から、玄関横の縁側を「日向ぼっこしたり、緊急時、避難をスムーズにするために広くしてほしい」との提案を受けて、改修がなされており、利用者の暮らしの中でも活用されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 少しでも還元できるように加算基準を満たす努力はしている。勤務年数に応じた昇給、加算分の還元を行うなど。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修を勧めたり、資格取得に対しても積極的に勧め、スキルアップに努めている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 職員が他施設に見学に行ったりしたり、来ていただいたり話をしたり、お互いのよいところを伝え合ったりし、よいところは取り入れたりしている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 本人と話す時間をもち、出来るだけ多くの事を聞き、何が不安で何を必要としているかを理解するようにしている。本人が話したいときに待つではなく、まず耳を傾ける努力を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) これまでの家族の苦労話や、サービスに対しての不安や、意見にその都度対応している。実際家族が気軽に話せる関係作りにも努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 家族・本人の意見を聞き、まず何が必要か検討し、支援を行っている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 本人の不安や楽しみ等を知ることにも努め、共に支えあうように努めている。時には家族、知人になり、よりよい理解者になるよう努め、信頼関係が持てるようにしている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の面会の際には、出来事やその時の利用者の様子や現在の身体・精神状況など日ごろの状態を報告し、共に介護について話し合っている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人が連絡を希望している場合は希望に沿うようにしている。馴染みの場所を思い出せない人も多くなっているのが実情である。 (外部評価) 利用者の知人が訪ねて来られることもある。ご家族と入居前から利用していた理髪店に一緒に行かれたり、買い物や食事に行かれる方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 昔遊んだ事や、歌などを話題にしたりすることで全体の会話へとつなげ、お互いに懐かしんだりして交流を持つことが出来るように努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院後体調が思わしくなく、退去となった方にも気軽に相談してもらえよう関係作りに努めている。相談には、誠意を持ってお答え対応している。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者のペースにあわせ、一人ひとりが自分で決めたり、選んでもらう場面を作っている。選ぶのを待つ等の配慮を行っている。また個人個人の意見も大切にしている。困難な場合もその人に何が必要であるか、検討した上で行うようにしている。 (外部評価) 「家に行きたい」と言われる方には、もと、家があった場所の近くまで出かけてみることもある。職員は、利用者個々を「観察する」ことを大切にしておられ、思いや意向の引き出しに努めておられる。日々の介護記録には利用者の状況や言葉をそのまま記録して、職員全員で利用者個々の思いや意向の把握に努めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 馴染みの家具・馴染みのもの等置き、家庭の雰囲気作りに努めている。家族より情報を聞く等している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日バイタルチェック行い、一人ひとりの健康状態を把握し、声かけや、会話、普段の様子を観察することにより、身体・心の状態を知るよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 家族・医療関係者・職員と相談し、意見等も検討し、毎日職員同士で話し合いも行き、利用者が一番良い、一番必要としていることを介護計画として作成している。</p> <p>(外部評価) 介護計画に基づいた「サービスチェック表」で、毎日プランの評価を行っておられ、月末には、担当職員が「気になることや気づき」をまとめ記録されている。介護計画は3ヶ月ごとに見直し、ご家族と話し合い、計画について検討されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 一ヶ月毎に介護計画の評価を行っている。経過記録を出来るだけ具体的に個人個人で記入してもらい、一ヶ月の経過記録より評価している。情報の共有、介護計画にも生かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 通院・外出等個人の希望に沿って出来るだけ職員で対応している。家族の希望があれば宿泊も出来る。出来るだけ個別にも対応できるよう努めている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 現在活用出来る方がいないが、本人の今までの生活や思いに沿った支援をしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>かかりつけ医については、本人・家族の意向を聞き、以前か らかかっているところを希望される方に関しては、従来通り 同じ所を受診してもらっていたが、現在は、全員、本人・家 族の意向により、かかりつけ医の往診を受けている。また、 急変時にも医師に相談できるように連携をとっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族の希望で、往診に来ていただける協力医療機関 の医師に診てもらおうようにされており、2週間に1回 往診に来ていただいている。24時間いつでも電話で相 談できるようになっている。</p>	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報 や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師 等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受 診や看護を受けられるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>看護職員に相談して、異常の早期発見・医師への報告 等行い、重症化しないようにしている。介護職員もほ んのわずかな気づきも報告してもらうようにしてい る。</p>	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよ うに、また、できるだけ早期に退院できるように、 病院関係者との情報交換や相談に努めてい る。または、そうした場合に備えて病院関係者との 関係づくりを行っている。	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が入院した際は家族との連絡、病院に状態を定 期的に聞きに行くなどして退院時期も早期に相談し、 対処出来るようにしている。</p>	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>個々のレベルに合わせた話し合いを持っている。体調の変 化や身体・精神状態の変化に対して、家族にその都度話 し、理解してもらっている。重症化する恐れや緊急時の対応 なども医師や看護師を交えたりして行ったりもしている。ま た、事業所での重症化・緊急時のあり方等も話し合いさせて もらっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の状況をみながらその都度、ご家族や医師と話し合 うようにされている。主治医は、夜間時の往診は難しいが、 電話での相談や来院すればすぐに見てくださるようになって いる。現在、事業所で最期を迎えたいと希望される利用者 やご家族もおられ、事業所では医療行為を伴わない看取り は支援する方針でおられる。職員の不安等の意見もあり、 外部研修の受講や内部の勉強会等を行っておられる。</p>	利用者やご家族の希望する終末期のあり方について話し 合ったり、事業所でも希望に沿って支援できるような体制作 りやスキルアップに向けて取り組みをすすめていかれてほし い。ご家族の協力や医療機関との連携等、職員の不安なこ とについても皆で考えてみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 消防署職員に来ていただいて、緊急時処置を学んだり、急変時の応急手当も利用者の個々に合わせて行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地震等の配慮、火災時の非難等に配慮して、家具の配置・ベットの配置など気をつけている。 入居者の状態によりベット向きが困難な所は直接ベット上にかぶさらないようにするなど。 同じ敷地内にある代表宅との緊急ベルを設置した。	
			(外部評価) 8月には、夜間を想定して、介護度が重度の利用者の避難訓練を行い、マットで利用者を避難させる方法等を実際に行ってみられた。利用者をいち早く避難させるために、頭がドアの方向になるようにベッドの向きを替えたような方もいる。近所の方からは「できることがあれば手伝う」と言っていた。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個々に合わせた対応、会話をするように心がけている。	
			(外部評価) 排泄チェック表等は、裏返して置いておられた。職員は「馴れ馴れしくない言葉遣い」に気を付けておられ、必ず利用者を「～さん」と呼ぶようにされている。時に、気分が落ち着かない状態になるような方もあり、ご本人にお聞きしながら支援されている。昼食時には、下膳をご自分でされるかどうか尋ねておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 状況に合わせた対応ができるように職員同士の情報交換も頻繁に行いながら、利用者に強制しないで安心して生活できるよう働きかけを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 散歩、ドライブ、日向ぼっこ、買い物、草引き、食器拭き、洗濯物たたみ、テレビ観賞、ボール遊びなどみんなが同じ時間に動くのではなく、一人ひとりのペースに合わせた支援を行っている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 職員が声掛けし、カットや整髪したりしている。希望すれば近所の美容院等で対応することも出来る。各人の好みに合わせて行っている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一緒にスーパーの広告や料理の本などを見て食材や料理について話しをしたり、味見等してもらっている。個人の能力に合わせたお手伝いもしていただくようにしている。	
			(外部評価) カレーやお寿司がお好きな方や酢の物を好まれる方が多く、献立に採り入れて食事を楽しんでおられる。職員は、利用者と一緒に食材の買い物に行かれたり、散歩の途中の直売所で野菜を購入する等、利用者に向の野菜を教えたいたしながら 新鮮な野菜を多く採り入れて食事作りをされている。食事制限が必要な利用者には、医師と相談し、マヨネーズを摂った時には卵を控える等、配慮しながらお好きなものが食べられるように支援されている。豆の筋取り等野菜の下ごしらえをされる利用者や、調査訪問時は、ご自分で下膳しておられる利用者の様子がうかがえた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 各個人にあった食事形態で食事をしていただいております、水分も定期的に提供している。食事制限、体重管理、栄養管理など、医師とも相談しながら支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後の歯磨きを声掛け行っている。また必要な方は洗面所まで誘導し見守り介助を行い、また全介助の方にはカーゼなどを活用し口腔ケアを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) 食事の前後を目安に声掛けやトイレ誘導を行っている。排泄チェック表に記入して個人の排泄パターンを考慮しながら対応している。利用者によってはおむつをしたままではなく、ポータブルトイレを利用して頂くこともある。</p> <p>(外部評価) 排泄チェック表で利用者個々の状況を記録して、パターンの把握に努めておられる。建物の制限もあり、車椅子を使用している方もトイレを使用しやすいよう、トイレの出入り口はカーテンを付けておられ、プライバシー保護の観点から2重に取り付けられていた。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ヨーグルト、牛乳、季節の果物などの食材をふんだんに使用する。水分補給など、その方にあった解消方法を常に検討し、実践している。</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) 各個人のその日の体調を観察しながら、声掛けして入浴して頂いている。どうしても拒否される方にはタイミングをみて声掛けを考えたり時間をずらしたりして様子を見ている。</p> <p>(外部評価) 利用者の希望を聞きながら入浴をすすめておられ、毎日入浴される方、2日に1回入られる方、夕食前に入られる方等がられる。洗面器にシャンプーや石鹸の入った入浴セットをご自分用に用意している方もあった。入浴剤を入れたり季節に応じて柚子湯や菖蒲湯を楽しまれている。入浴を嫌がる方には、時間を置いて声かけしたり、職員が代わって声かけする等されている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) ご本人の生活パターンや夜間の様子などを考慮しながらスタッフ間でも話し合ったりして対応している。寝具は季節や気温に気をつけて調整している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) スタッフ全員が薬の目的など理解できていない時もあるため一覧表を表示し、確認するようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 本人に合った役割や喜びや楽しみを持つことができるようにしている。意思表示できない方には表情等観察して支援したりもしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 家族の方と一緒に外出したり、希望された時には外出したりしているが、まだまだ行けていない事の方が多い。	現在、長時間の外出が難しい状態にある利用者が多く、「外出の機会が減っている」と管理者は感じておられる。動物がお好きな利用者もおられ「砥部動物園に行きたい」と話しておられ、今後、利用者の体調を考慮しながら出かける機会を作っていきたいと考えておられた。協力者等も募りながら取り組みをすすめられ、利用者の楽しみ作り等、個々の暮らしをさらに広げていかれてほしい。
			(外部評価) 職員は、利用者と相談しながら喫茶店やドライブに出かけられたり、奥道後の菊花展や見奈良のコスモス畑等にも出かけておられる。近くの公園まで散歩することもある。又、他の施設の文化祭に利用者職員で行かれた。お天気の良い日は広くなった縁側で過ごされる方もおられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個人の能力に合わせて支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望される方がおられない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関前でメダカを飼ったり玄関には生け花を飾ったりして季節感を感じて貰ったりしている。庭では花や野菜を育てている。	
			(外部評価) 玄関にはポインセチア・木製のクリスマスツリーが飾られ、水槽に金魚が飼育されている。寒がりの利用者は、居間の暖房器具に近い場所に椅子を移動して過ごしておられる様子がみられた。職員と利用者がテーブルを囲んでお話されたり、ままごと遊びの道具等を使って手先の運動をされていた。又、利用者が昔、遊んだような手遊び等もされたりする。又、縁側で洗濯物をたたんだり、切り干し大根を干したりされていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングに畳イスを設置し、そこで横になり足を伸ばしたり洗濯物をたたんだりされる。またリビングでは談笑されている。他の方と関わるのが苦手な方には職員が必要に応じ働きかけている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ご家族と撮った写真などを飾ったり、好きな人形や縫いぐるみなどを飾ったりしている。また落ち着けるように本人に合わせた家具を用意したりしている。	
			(外部評価) ほとんどの利用者は、日中、居間で過ごされるようだが、お天気の良い日には、居室の陽の当たる場所で日向ぼっこされる方もいる。娘さんが作った手芸品等を飾っておられたり、好きなぬいぐるみを置いている利用者もおられた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 個人に合わせた環境づくりに勤めている。今まで行っていなかった事も個人の生活歴や好みに合わせた方法を検討するなどの取り組みを行っている。	